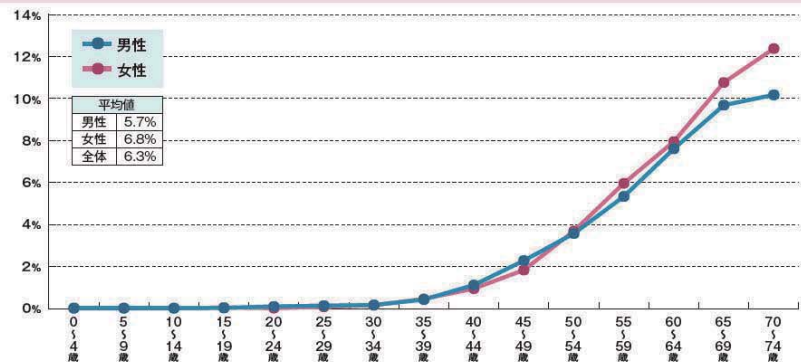


## ▶「高血圧性疾患」の受診率 ※受診率=各年齢階層のレセプト件数/各年齢階層の被保険者数×100

「高血圧性疾患」の受診率を男女別、年齢階層別に示しました。



Read Data

### 男女とも30歳代後半から受診率が上がる

虚血性心疾患や脳梗塞などの重症疾患の基になっていることが少なくない高血圧に関して、男女とも30歳代後半から徐々に受診率が増加し、50歳から急増していることから、30歳代後半までの予防的な働きかけ（保健事業）が重要です。また、50歳以降は女性の受診率が男性よりも高い状況となっています。

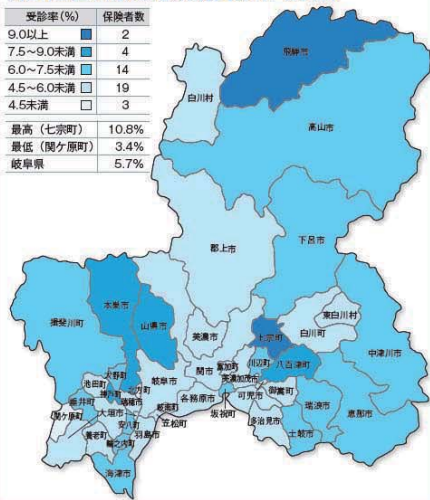
## ▶「高血圧性疾患」の受診率マップ

「高血圧性疾患」の受診率を男女別に岐阜県マップに表示しました。

### 高血圧性疾患の地域別受診率（男性）

受診率 (%)	保険者数
9.0以上	2
7.5~9.0未満	4
6.0~7.5未満	14
4.5~6.0未満	19
4.5未満	3

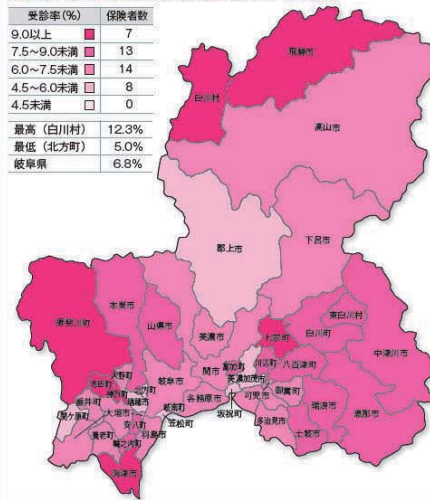
最高（七宗町） 10.8%  
最低（関ヶ原町） 3.4%  
岐阜県 6.7%



### 高血圧性疾患の地域別受診率（女性）

受診率 (%)	保険者数
9.0以上	7
7.5~9.0未満	13
6.0~7.5未満	14
4.5~6.0未満	8
4.5未満	0

最高（白川村） 12.3%  
最低（北方町） 5.0%  
岐阜県 6.8%



Read Data

### 「高血圧性疾患」の受診率は地域性が見られる

男女とも東濃地区と飛騨地区で受診率が高い傾向にあり、受診率の地域差の背景には、高齢化率の違いなどが考えられます。また、男性では受診率が一番高い保険者は七宗町で10.8%、一番低い保険者は関ヶ原町で3.4%となっており、約3.2倍の差があります。女性では一番高い保険者が白川村で12.3%、一番低い保険者が北方町で5.0%となっており、約2.5倍の差があります。

# To Read Data

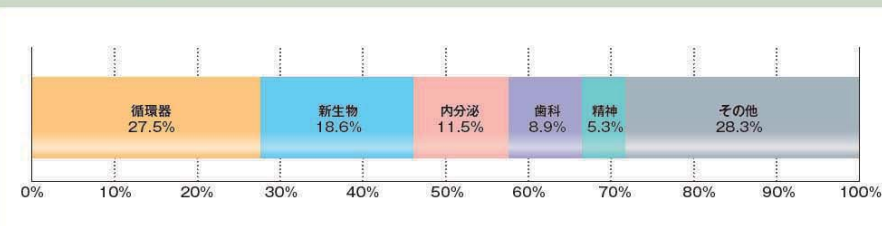
データからわかる岐阜の国保

## 「循環器系の疾患」の状況

今号では、毎年高い医療費となっている「循環器系の疾患」（以下「循環器」という。）について、県内市町村国保を対象に行った平成29年5月診療分として審査決定されたレセプト（医科・歯科）の疾病分類別調査の結果（速報値）を基に分析を行います。

### ▶「循環器」の状況

疾病大分類別の全医療費に占める割合を表示しました。



Read Data

### 全医療費の27.5%を「循環器」が占める

平成29年5月診療分の疾病大分類別の医療費については、例年と同じく「循環器」が最も多く、全体の27.5%を占めており、2番目に高い分類である「新生物」より8.9ポイント高くなっています。

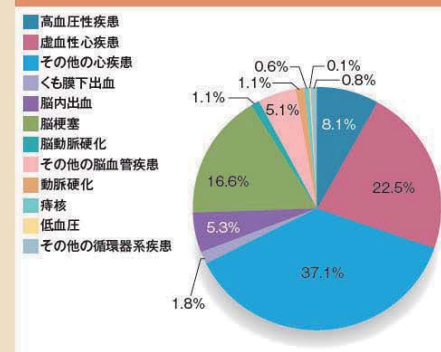
## ▶「循環器」に分類されたレセプトの件数と点数

「循環器」に分類される「高血圧性疾患」、「虚血性心疾患」、「その他の心疾患」、「くも膜下出血」、「脳内出血」、「脳梗塞」、「脳動脈硬化」、「その他の脳血管疾患」、「動脈硬化」、「痔核」、「低血圧」、「その他の循環器系疾患」のレセプトの件数と点数を表示しました。

### レセプト件数割合



### レセプト点数割合



Read Data

### 「循環器」における約35%が「高血圧性疾患」のレセプト

「循環器」に分類されたレセプトの中分類を見てみると、件数割合では「高血圧性疾患」が最も高くなっています。次いで、「その他の心疾患」、「虚血性心疾患」の順になっており、「高血圧性疾患」が全体の34.8%を占めています。点数割合では、「その他の心疾患」が最も高くなっています。次いで、「虚血性心疾患」、「脳梗塞」、「高血圧性疾患」の順になっています。